

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※ご家族でご覧ください

第15号

平成30年3月1日
発行責任者 藤野慶正
(住職)

春の彼岸

3月18日(彼岸入り)
3月21日(中日・春分の日)
3月24日(彼岸明け)

ここ数年、雪の影響が少ないと思っていましたら、1月下旬に4年ぶりの大雪となり、雪掻きに大いに汗をかかせて頂きました。考え次第で雪掻きは苦しくもなり楽しくもなるものです。但し、無理は禁物！体を壊してしまつては元も子もないですから。

この原稿を書いているのは2月上旬ですので、まだまだ油断できませんが、なんの事はない、お彼岸の時期になりますと、すっかり春を感じるようになるでしょう。是非この気候の良い時期にお墓参りをされ、心新たに新年度・新学期を迎えられて下さい。今年の春分の日は水曜ですので週の真ん

中、連休になりにくいこともあり分散しそうな気もしますが、特に混雑が予想される17日(土)・18日(日)・21日(水)に交通整理をお願いする予定です。参詣の際は、呉々も事故の無いようお気を付けてお越し下さい。

永代供養合同法要

3月21日(水)午後2時

彼岸の中日の午後2時より、本堂にて「正安の縁」合同法要を行います。※雨天決行。本堂にて読経後、永代供養臺にお参りします。

参加される方は、開始10分程前に、本堂にお越しください。お早くお着きの方は、休憩所等でお待ちください。※費用不要ですので是非ご参加ください。御一緒に正信偈を読み、納骨されている方に思いを巡らしつつ、御本尊阿彌陀仏に報恩感謝致しましょう。

掃除

お釈迦さまに周利槃特(しゆりはんどく)というお弟子さんがいました。しかし、自分の名前が書けませんし、呼ばれても誰のことか分かりません。お釈迦さまが名札を首から掛けられたのですが、そのことも忘れてしまつてしまいました。当然、お釈迦さまの説法を聞いても、すぐに忘れてしまいます。しかし、悟りをひらきたいという強い心を持っていました。

そこでお釈迦さまは、彼のために掃除という修行を教えました。一本の木ウキを与え「塵を払い、塵を除かん」と唱えさせました。

掃除を続けて数年が経つた頃、周利槃特はお釈迦さまに尋ねます。「悟りをひらいたでしょうか」お釈迦さまは「いや、ひらいていない」と答えます。そして、周利槃特は黙々と掃除を続けました。

そんなある日のこと。せつかく掃除した所を子どもたちが遊んで汚してしまいます。「こらっ！」と周利槃特は木ウキを振り上げ怒鳴りました。と、その瞬間、「あ、

そっか、本当に汚れていたのは私の心であった。掃除は私の心をきれいにするためであった」と気づき、悟りをひらいたそうです。

そして、お釈迦さまは周利槃特が一心に掃除している姿に手を合わせ拝み、見守つていたそうです。

掃除を少しでも毎日してみませんか。掃除を毎日するということは、継続することの大切さを実感できる修行にもなります。

お彼岸は、以前書いたかと思いますが、仏道修行を実践する期間でもあります。六波羅蜜の教え、覚えていますか？(ほつ寺通信第3号参照)浄土真宗は修行は必要ないとは言いますが、悟りをひらくというよりは自分を磨く為(六波羅蜜の精進)するのは素敵なことではないでしょうか。

掃除した所はきれいになり、それを見た人の心もすがすがしくなり、自分の心もきれいになります。

皆さん、お墓参りの際、お墓のお掃除も忘れずに。きつと心が晴れやかになります。そして、先祖様も誇らしく見守つて下さるので、はいではないでしょうか。

新年会開催

1月にお世話になっている世話人様と新年会を行いました。今回ご都合の悪い方が多く少人数でしたが、今年の一字を書いて抱負を語っていただいたり、親子三代に渡る手品披露（笑）など、和気あいあいと楽しく過ごさせていただきました。私の今年の一字は「減」

欲を減らすというのは表向きで、体重を減らしたり物を減らしたり身軽になることから始めようかと。果たしてどうなりますか。



※皆さん今年の一字を持って記念撮影。息子は、今年成年なので「犬」と書いておりました。（笑）



※今までの薄暗い感じから一転して、輝くような本堂に生まれ変わりました。というものは少々大々大さでしょうか。（笑）

本堂照明LED化

1月に本堂の照明のほとんどをLEDタイプに変更しました。これは前から行いたいと思っていたことで、新年を迎え実施することになりました。今までより明るくそして儼かな雰囲気が出るように全面的に電球色とし、輝くような本堂になったかと思っています。

消費電力も以前に比べ8割程度削減できていると思われ、私の今年の抱負「減」にも通じ、二重取りしています。LED電球も性能が安定し、安値にもなってきているようです。まだの方もこれを気にいかがですか。

今年の冬は、大寒波に大雪と、寒々しい天気に悩まされました。しかし、息子は毎日のように雪だるまにかまくら作り、雪かきで積み上げられた雪山から滑ってみたり、掘ってみたりと、色んな遊びを満喫していました。（寺では、日陰の所が何週間にも渡り雪が残り、来寺された方に驚かれるほど）そんな天候ですから、野菜もかなりの高騰化！高い、高いと嘆いていても、どうにもなりません。

あるテレビ番組で、料理家の栗原はるみさんが出演し、高いから買わないのではなく、旬のものを少しの材料でも美味しく食べられるように工夫するという様な話をしていました。自分の腕を試すチャンスだと思うのだそうです。なるほど。困ったことに直面した際、マイナスのイメージを持つとそこで終わってしまいます。しかし、発想の転換で、前向きに物事を捉えプラスに変えていく。私自身、人には前向きに話をするつもりもありますが、自分のこととなる

坊守のコラム

ほうもり※住職の妻

と、案外マイナス思考だと住職に言われたことがあります。心に留めてなるべくプラスイメージを持つよう心がけたいと思いました。

あとがき

今回は、除雪に掃除に削減と「減」にまつわる記事が多くなりました。ふと思い出すのは、以前流行った「断捨離」。不要な物を減らし、生活に調和をもたらそうとする思想。特に離の「物への執着から離れる」は仏教にも通じる考え方です。折しも先月の節分でのニュースにて、スーパーなどで恵方巻の大量廃棄があつたとか。考えさせられるニュースでした。

寺報「ほっ寺通信」第15号

浄土真宗東本願寺派 野中山 正山寺

住 住 藤野慶正（発行責任者）
電 所 〒194-0201
話 町田市上小山田町1504
FAX: 042-797-1446
URL: 042-797-9233
メー ル: <http://shousan.net>
i n f o @ s h o u s a n . n e t